

令和7年度 第19回 小美玉市子ども議会



青少年を育てる小美玉市民の会
小美玉市学校長会

目 次

開催要項	1
議会日程	2
出席議員	3
説明のために出席した者	3
趣旨説明	4
市長あいさつ	5
市議会議長あいさつ	6
質問及び答弁	7
講評	23
感想文	24
当日の様子	33

第19回小美玉市子ども議会開催要項

1. 目的

次世代を担う子どもたちが、市役所の仕組みや仕事を知り議会活動の一部を体験することで、市政をより身近に感じ関心を高めると同時に、子どもたちから見た市政に対する意見や要望・提言などを聞き、子どもたちが参加するまちづくりに資する。あわせて、子どもたちが毎日の生活を顧みること、家族や社会の一員であることに改めて気づき、地域とのつながりを大切にする心を育て、参加する子どもたちの健全な育成を目的とする。

2. 主催 青少年を育てる小美玉市民の会・小美玉市学校長会

3. 名称 第19回小美玉市子ども議会

4. 期日 令和8年2月3日(火)

5. 会場 小美玉市議会議場（小美玉市役所3階）

6. 対象 市内中学校2年生・義務教育学校8年生 代表生徒

7. 実施方法

- ・議員選出 各学校に一任
- ・議長選出 議長2名

年度	前半	後半
令和2(中止)	小川南小学校	竹原小学校
3(中止)	美野里中学校	玉里学園(後期)
4	玉里学園(前期)	小川北義務(前期)
5	美野里中学校	玉里学園(後期)
6	堅倉小学校	羽鳥小学校
7	小川北義務(後期)	小川南中学校

- ・質問方法 一般質問形式
一人一問一答方式で再質問は行わない。通告制とする。
- ・質問内容 自由

8. 参 考

- ・各学校から1名担当の先生を選出する。
- ・子ども議員の送迎は市公用車で行う。
- ・子ども議員感想文は、会議録と共に冊子にまとめて各学校及び関係者に配布する。
- ・子ども議員には記念品を贈呈する（議員証・証書ファイル等）。

9. 協 力 小美玉市・小美玉市議会・小美玉市教育委員会

第19回小美玉市子ども議会日程

議事日程 第1号

令和8年2月3日(火)
午前9時00分 開会

1. 子ども議会趣旨説明
2. 小美玉市長あいさつ
3. 小美玉市議会議長あいさつ
4. 自己紹介
5. 議事日程
 - 日程第1 会期の決定
 - 日程第2 一般質問
6. 講 評
7. 閉 会

子ども議員名簿

< 後半議長 >	1 番	小 川	南	中	学	校	大	塚	晴	琉
	2 番	小 川	南	中	学	校	郷	原	希	恵
	3 番	小 川	南	中	学	校	長	島	希	帆
	4 番	美 野	里	中	学	校	榎	本	優	杏
	5 番	美 野	里	中	学	校	井	坂	凜	稀
< 前半議長 >	6 番	美 野	里	中	学	校	石	橋	溪	太
	7 番	美 野	里	中	学	校	倉	田	壮	郎
	8 番	小 川	北	義	務	教	三	ツ	橋	咲
	9 番	小 川	北	義	務	教	赤	羽	柑	和
	10番	玉里	学	園	義	務	関	根		菜
	11番	玉里	学	園	義	務	デル	ガ	ディ	ジョ
	12番	美 野	里	中	学	校	連	川		辰
	13番	美 野	里	中	学	校	小	川	利	夫
	14番	美 野	里	中	学	校	岩	渕	陽	凛
	15番	美 野	里	中	学	校	額	賀	歩	夏

説明のために出席した者

市	長	島	田	幸	三	福	祉	部	長	佐	々	木	浩
副	市	長	深	谷	一	産	業	経	済	部	長	倉	田
教	育	長	羽	鳥	文	都	市	建	設	部	長	朝	比
市	長	公	滑	川	和	会	計	管	理	者	大	山	浩
総	務	部	中	村	均	教	育	部	長	植	田	賢	一
財	務	部	大	山	伸	農	業	委	員	会	事	務	局
市	民	生	活	部	長	大	原	光	浩	消	防	長	鈴
保	健	衛	生	部	長	長	谷	川	勝	藤	枝	修	二

議会事務局出席者

議	会	事	務	局	長	佐	川	光
書					記	井	坂	義
書					記	寺	家	祐

生涯学習課出席者

生	涯	学	習	課	長	島	田	広
書					記	大	場	瞬
書					記	田	村	は



趣旨説明

青少年を育てる小美玉市民の会 会長

しのね かつお

篠根 捷應

皆さんおはようございます。

本日は大変お寒い中を、しかも早朝より小美玉市議会議場にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

私は青少年を育てる小美玉市民の会の会長 篠根 捷應でございます。

青少年を育てる小美玉市民の会と小美玉市学校長会の共催により、第19回小美玉市子ども議会が、このように、厳粛な空気の中で、しかも盛会に開催できましたこと、大変嬉しく思っております。

この本会議場を借用するにつきましては、石井 旭 議長さんに快く承諾いただきました。ありがとうございました。また、今日は島田 幸三 市長はじめ、市の執行部の皆さん方、大変公務ご多用のところ、それぞれこの子ども議会に、ご理解とご協力いただきました。本当にありがとうございます。

さて、議席に座られました14名の議員さん。（今1名の議員さんが別室で体調不良で休んでますけれども、この席には14名いらっしゃいます。）先程、別室において、議員証書を授与いたしました。今日皆さん方は、1日、小美玉市の議会議員です。おめでとうございます。

さて、今日私は趣旨説明ということですが、要するに、小美玉市のこの子ども議会をなぜ開くのかということなんです、その理由、それから、趣旨についてご説明をいたします。

この我々の市民の会では、青少年の皆さんが健やかにたくましく育っていくことを願って、たくさんの事業を実施し、健全育成運動を展開しております。その中の1つとして、皆さんが自分の住んでいる小美玉市のことに、大いに関心を持っていただき、市役所の仕組みや、市の政治経済のことを知っていただくためにも、1日議員として議会活動を体験してもらおうというのがこの目的です。

皆さんのように、純粋で多感な青少年の目で見たと、市に対する意見や要望、提言などを聞いて、市長さんや市役所の皆さんに、市議会議員の方々も、このお話を聞いていただいて、今後の市の政治に反映させるためにも、しっかりと質問を聞きます。

皆さん方は今日のために、市のことをいろいろと調べたり、あるいはみんなに聞いたりして、小美玉市のすばらしいところを感心したり、また、疑問に思ったり、もっとこうして欲しいと考えたりしたことでしょう。それをこの議場で質問するわけです。このことを一般質問といいます。

そして質問には、市長さんや市の執行部の方々が一生懸命準備をして答えてくれます。このことを執行部の答弁と言います。議員の皆さんはしっかりと質問をして、答弁を楽しみに聞いてください。

今日この子ども議会に議員として登壇できることは、学校の代表として選ばれたことですから、選挙で当選したことと同じです。貴重な体験として皆さん自身の誇りにされ、今からの学校生活でも、また、大人になってもいろいろな分野でリーダーとなり、立派に活躍されることを期待します。

今、衆議院議員選挙の最中です。皆さんもあと4年もすれば、選挙権が与えられます。投票は政治参加の貴重な第一歩です。ところが、若者の投票率がなかなか高くなりません。選挙の時が来したら、今日のことを思い出して皆さんは必ず選挙に行ってください。そして今日うちに帰りましたら、お父さんやお母さん、ご家族の方々に選挙に行つてねとお願いしてください。よろしくお願いします。

ところで、本当に残念なことに今も世界の各地で戦争が続いています。日本も81年前まで何度も戦争を繰り返し、筆舌に尽くしがたい悲惨な状況で、敗戦・終戦となったのです。

皆さんは平和の世界を築くために努力してください。ますます高齢化が進む中で、未来を託す皆さんが政治や経済をしっかりと支え、発展させてくださることを願っています。

このような期待と夢を抱いて開催しているのが、この小美玉市子ども議会です。どうぞ努力してたくましく生きてください。

傍聴席の保護者の皆さん方、それから学校の先生方、本日のこの子ども議会にご理解とご協力、本当にありがとうございました。また、今日の準備につきましては、生涯学習課の職員、そして議会事務局の皆さん方、その他関係者の皆さん方、大変ご尽力いただきました。感謝を申し上げます。

本日の子ども議会が有意義に開催され、この成果が高く評価されますことを祈念いたしまして、趣旨説明といたします。ありがとうございました。



市長あいさつ

小美玉市長
しまだ こうぞう
島田 幸三

皆さんおはようございます。

小美玉市長の島田 幸三です。

本日、第19回を迎えます小美玉市子ども議会が開催されますことを、心からお喜びを申し上げます。

子ども議会の開催にあたり青少年を育てる小美玉市民の会、学校長会、子どもたちのご指導をされた先生方、たくさんの皆様に時間をかけて調整をしていただき、今日という日を迎えられたことに対し、心より感謝申し上げます。

改めて子どもの、議員の皆さん一人一人の凛々しい姿を見ますと、これから始まる子ども議会に対する熱意や意欲が伝わり、大変頼もしく感じております。

皆さんが今、座っているこの議場は、日頃、市議会議員の皆様と私たち執行部がまちづくりの問題や、課題について話し合いをするとても大事な場所です。明日の小美玉市を担っていく大切な宝であります皆さんに、市議会を体験していただくことは、大変意義があり、皆さんにとっても貴重な経験になると思います。

大勢の人を前に、少し緊張しているかもしれませんが、これまで準備をしてきたことを十分に発揮し、自信を持って堂々と質問をしてください。私たちも誠意をもって、答弁させていただくとともに、皆さんのご意見やご提言をしっかりと受けとめ、まちづくりの将来である「ひと、もの、地域」が輝くダイヤモンドシティの実現に活かしていきたいと思っております。

結びに、本日のご参会の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、挨拶いたします。

どうかよろしくお願いいたします。



議長あいさつ

小美玉市議会議長

いし い あきら
石 井 旭

皆さんおはようございます。

そしてようこそ、小美玉市子ども議会へ。

市議会議長の石井でございます。

本日ここに、未来の小美玉市を担う中学2年生の皆さん、義務教育学校8年生の皆さんの15人がこの議場で、子ども議会を開催できますことを、議長として大変光栄に、また、心強く感じております。皆さんの積極的な参加に、心より感謝を申し上げます。

皆さんが、日頃から学校生活や地域活動の中で、このまちの未来について真剣に考え、意見を交わしていることに深く敬意を表します。

この子ども議会は、皆さんのその尊い想いを市政に直接届けることができる、貴重な機会でございます。

私たちは皆さんの新鮮な視点や、自由な発想がまちづくりを大きく動かす力となること信じております。

現代社会は、少子高齢化や環境問題、デジタル化の進展といった多様な変化と課題に直面をしております。

こうした状況を乗り越え、より豊かな未来を創造していくためには、若い世代の皆さんの、変化を恐れず前向きに挑戦する姿勢と積極的な意見表明が不可欠です。

どうか今日の議会では、皆さんが日頃感じている「こんな小美玉市になったらいいな。」「こんなまちにしていきたい」という思いを、遠慮なく活発に発表してください。

互いの考えを尊重し、真剣に議論を深めることできっとすばらしい提言が生まれることでしょう。

この経験が皆さんのこれからの成長において、地域への愛着と社会参加への意識を高める貴重な1歩となることを心から願っております。

皆さんの活発な議論と実り多い1日となりますことをご期待申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。



質問及び答弁



質問事項

交通安全対策について

学校名 小川南中学校

議員名 おおつか はる 大塚 晴琉



質問

交通安全対策について、質問をいたします。

私たちは毎日、通学の際に小川南小学校体育館前の道を通っています。この場所は多くの児童生徒が利用する通学路ですが、体育館前の横断歩道には信号機が設置されておらず、車の通行が多い時間帯にはとても危険だと感じます。実際に、車が止まらずに横断を待たなければならないことも多く、特に雨の日や夕方などは視界が悪く、事故の危険性が高まっています。

私自身も、車が止まらずにひやりとした経験をしたことがあり、この場所の安全対策が必要だと感じました。

子どもたちが安心して登下校できるようにするためには、安全な横断環境を整えることが大切だと思っております。

そこでお伺いいたします。通学路をより安全にするためには、どのような取り組みや改善案を進められておられるのでしょうか。また安全対策の一例として、信号機の設置などを関係機関と連携して検討いただくのは可能でしょうか。

■答弁【答弁者名：長谷川 勝彦 保健衛生部長】

大塚議員のご質問「交通安全対策について」お答えします。

市では、歩道がない箇所や見通しが悪い箇所などの危険箇所を解消し、児童生徒の皆さんが安心安全に通学出来るように「通学路交通安全プログラム」という取り組みを行っております。これに基づき、各学校は通学路の危険箇所をPTAや地域住民などと連携して把握し、教育委員会へ報告することになっております。学校と情報を共有した教育委員会は、警察署や道路管理者へ協力を依頼し、具体的な対応策の検討を行なっております。

ご提案のありました信号機の設置につきましては、主に警察署と協議を行うこととなっており、警察庁が定めた指針をもとに基準を満たす必要がありますが、原則として信号機同士の距離が150メートル以上離れていないとされております。

ご指摘をいただいた横断歩道については、小川南小学校の校門前に信号機があることから、基準と照らし合わせると難しい状況にあります。

しかしながら、議員ご自身においても危険を感じられたということですので、当面の対応措置として自動車の運転者への注意喚起とルールの徹底について、関係機関と検討を進めてまいります。

また、今回の箇所以外にも通学中の危険箇所については、「通学路交通安全プログラム」に基づく対応をしてまいりますので、まずは学校に相談をお願いいたします。

今後とも、皆さんが安心して学校に通学できるよう、安全対策に努めてまいります。

以上、答弁いたします。

質問事項

ゴミやたばこのポイ捨てについて

学校名

小川南中学校

議員名

ごうはら きえ
郷原 希恵



質問

登下校のときなどに、ペットボトルやたばこのポイ捨てをよく見かけます。その光景を見ると、その日の気分が悪くなったり、地域の印象も悪くなってしまいます。本来ならきれいな道を通ることで気持ちよく登下校ができるはずなのに、ゴミのポイ捨てにてよって小美玉市の環境が悪くなっているのはとても残念に感じます。

ポイ捨てされたゴミは、風や雨によって川や海に流れます。ゴミは分解されにくく、長い間残って自然や生き物を汚してしまいます。

私たちの住む町をきれいに保つためにはポイ捨てをなくすことがとても大切だと考えています。ポスターやチラシを通学路に設置してほしいです。そうすれば環境がきれいになり、ポイ捨ての習慣も減らせると思います。

さらに、地域や学校で行う清掃活動を活性化させ、自分たちの周りをきれいにしようという意識をみんなで共有できればと思います。こうした取り組みを続けることで環境がより美しく保たれ、ポイ捨てのないまちづくりにつながると考えます。地域の一人ひとりが意識して行動し、ポイ捨てのないまちにしてほしいです。

■答弁【答弁者名：大原 光浩 市民生活部長】

郷原議員のご質問「ゴミやたばこのポイ捨てについて」お答えいたします。

議員ご発言のとおり、市内には、たばこや空き缶など比較的小さなゴミから、自転車や家電製品などの大きなゴミまで、多くの種類のゴミが捨てられております。

市では、捨てられてしまったゴミは、週3日、2名の不法投棄作業員が市内を巡回しながら回収しています。令和6年度の1年間で回収したゴミの量は6,400キログラムで、3年前の7,310キログラムと比較すると、減少傾向にはありますが、まだまだ私たちの日常生活の中で目にすることが多いのが実状です。

これらの不法投棄対策として、市では、ゴミの適正な処分方法やリサイクルの重要性を市民の皆さんに知ってもらうため、ポスターやチラシによる広報活動や、不法投棄された場所などへの看板の設置をしています。議員ご提案の通学路への設置も、通学の妨げにならないよう設置場所に配慮しながら前向きに検討したいと思います。

また、地域の方々との年2回のクリーン作戦、歩いて健康づくりをしながらゴミ拾いをする「クリーンウォーク」、ゴミ拾いをスポーツに位置付けたイベント「スポーツごみ拾い」など、誰でも参加できるイベントを行っており、議員ご指摘のように、自分たちが住む街をみんなできれいにしようという、啓発活動なども行っています。議員におかれましては是非、ご家族やご友人と、ご参加いただければと思います。

大切なことは私たちひとりひとりが、資源として活用できるゴミを適切に分別することを意識し、責任ある行動をしていくことだと考えます。

今後も、ゴミのポイ捨てなど、不法投棄の解消に向けた取り組みを継続して行い、市民の皆さんと一緒に美しいまちを目指してまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

3つの文化センターの活性化について

学校名 小川南中学校

ながしま きほ
議員名 長島 希帆



■質問

私は、3つの文化センターの活性化について質問します。

小美玉市には3つの文化センターがあり、1つの市に3つも文化センターがあるのはとても珍しいと思いました。

しかし、私は小川地区に住んでいるので、アピオスのイベントのチラシはよく見るのですが、コスモスとみの～れのイベント情報はあまり見かけません。ですが、調べてみると、文化センターではたくさんのイベントを行っていることが分かりました。しかし参加してみたいおもしろそうなイベントが、知らないうちに終わっていて、残念な気持ちになりました。

そこで私は文化センターのイベントの周知を市内・市外にもっと行えば、小美玉市の知名度があがるのではないかと考えました。

ですが、私は催し物がどのように周知されているのかが分かりません。どのように周知をしているのかを教えてください。

また、私自身イベントの企画づくりに興味がありますが、どのように企画しているのでしょうか。企画づくりに参加したい中学生もいると思います。学生も参加できる環境づくりを行い、一緒に3つの文化センターを活性化させることで、地元の魅力に気づき、地元愛につながるのではないかと思います。

ぜひ学生も企画に参加できる環境づくりをご検討ください。

よろしくお願いいたします。

■答弁【答弁者名：滑川 和明 市長公室長】

長島議員のご質問「3つの文化センターの活性化について」お答えいたします。

現在、3館の文化ホールイベント情報につきましては、主にイベント情報誌といたしまして「おみたmagazine」を市内外に配布し、3館のそれぞれの特徴やイベントなどの情報を発信しているほか、その他にも、イベントチラシや各文化ホールのホームページ、インスタグラムやフェイスブックといったSNSも活用して広範囲に情報を発信しております。

このように様々な方法でイベント等の情報の発信を行っておりますので、長島議員におかれましてもぜひご覧いただければと思います。

次に「イベントの企画方法」につきましては、それぞれの館におきまして、市民の方々による企画実行委員会などが中心となり、イベントのアイデアを出し合いながら、イベントの企画・実施を決定しています。

また「児童生徒の皆さんが企画作りに参画できる仕組み」につきましては、みの～れで行っている『みゅ～じっく☆すた～と』というイベントがあります。これは、中学生が集まり、企画から運営までを担当し、コンサートのプロデュースを体験できる企画となっております。この企画には「中学生が直接イベント企画や運営に参加していただくことで、長島議員ご発言のとおり、地元の魅力に気づき、地元愛につながるきっかけにしてほしい。」という想いを込めて実施している事業であります。

このほかにも、コンサートやイベントでの当日の運営のお手伝いやチラシのデザインの作成など、様々な関わり方がございます。

今後とも、3館の文化センターを活性化させるため、市民の皆様に関心を持っていただき、さらには、「企画づくりに関わりたい」といった長島議員のように熱意を持った若い皆様の新しいアイデア、若い世代の参加をぜひ期待しておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。以上、答弁いたします。

質問事項

バスの路線について

学校名 美野里中学校

議員名 えのもと ゆ あ
榎本 優杏



質問

私は小美玉市内のバスの路線について質問いたします。

私は、市内を走る巡回バスの新しい停留所について提案します。

私の通う美野里中学校は、4つの小学校から生徒が進学してきます。そのため、通学範囲が広く、特に堅倉や羽鳥の方面から通学してくる生徒の中には通学距離が長い生徒が多く見られます。友人の中にも、片道40分近くかかってしまう子がいて、とても大変そうでした。それに加え、今の時期は下校時刻が早くなっていますが、それでも周りは暗く、走る道が見えづらかったりするので、危険に気づきにくいなど、安全面ではあまり安心できないように思います。

そこで、各学校の近くと生徒が多く住む団地などの近くに、おみたんバスなどの市巡回バス停留所を増やせばよいのではないかと考えました。登校時は時間的に難しいかもしれませんが、下校時にバスが来てくれば、遠くから来る生徒も安全に下校することができ、仕事をしている保護者の方の負担も減らせるのではないのでしょうか。それに、今小美玉市で行っている部活動の地域移行に伴い、拠点校を置いて活動する部活動も増えてきているので、その際の学校間の移動もスムーズになるのではないのでしょうか。

生徒の安全な下校、移動のために、また、いつも送迎をしてくださっている保護者の方々のためにも、バスの停留所の増設が必要だと思っています。以上、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

■答弁【答弁者名：朝比奈 公俊 都市建設部長】

榎本議員のご質問「バスの路線について」お答えいたします。

現在、本市では、小学生の通学距離が3キロメートルを超える場合を遠距離通学とし、スクールバスを活用して通学支援を行っております。これに対して、中学生の遠距離通学の基準は、現在、市では定めておりませんので、中学生に対する遠距離の通学や部活動が地域移行になった場合の移動に関する交通支援は行っておりません。

路線バスやコミュニティバスは、決まったルートと時刻表に従って運行される公共交通であり、鉄道やタクシーなどと同様に人々の移動を支え、移動手段を持たない高齢者や学生などに利用されております。

コミュニティバスのルートや停留所などを変更または新設する際には、地域にとって望ましい公共交通サービスの姿を示すマスタープランである「小美玉市地域公共交通計画」に基づき、小美玉市地域公共交通会議での協議を経て、バス事業者が国土交通省に届出または認可を受ける必要があることから、地域の課題やニーズへの対応はもとより、持続可能な運営に向けた収支改善などをはじめ、様々なことを考慮して検討しなければなりませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、議員のご発言にありました「生徒の安全な下校、移動」に対しましては、まずは、通学路の危険箇所を把握する必要があります。

さらに、通学路の安全確保を図るには、皆さんから危険な箇所などについて、学校を通して具体的に情報提供をいただくことが、防犯灯の設置や歩道の整備などへの改善に向けた対応につながりますので、この機会に先生や友人たちと、安全な通学路について、是非、話し合いを行っていただければと思います。以上、答弁いたします。

質問事項

学校のグラウンド設備について

学校名 美野里中学校

議員名 いさか りつき
井坂 凜稀



質問

学校のグラウンド設備について質問させていただきます。

私は、学校のグラウンドに、ミストシャワーとウォーターサーバーを設置することを提案します。

近年、地球温暖化が進み、熱中症になるリスクが高まっています。そこでまず、ミストシャワーの設置です。ミストシャワーは体感温度を大幅に下げる効果があり、熱中症のリスクを軽減できると言われています。本校には、ミストシャワーが校舎側付近に1つ設置されているので、さらにもう1つ設置していただくことはできないでしょうか。

次にウォーターサーバーの設置です。現在、校舎内には、教室がある各階にウォーターサーバーを設置していただいております。生徒たちの水分補給に大変助かっております。美野里中学校は、部活動が盛んな学校です。休日の部活動時には、大型の水筒を用意していきますが、それだけではとても足りません。こまめに安心して水分補給を行えるように、設置をぜひお願いします。本校はグラウンドが大変広いので、校舎側付近に1カ所と、その反対側にあるテニスコートとソフトボール部の活動場所の間に1カ所、計2カ所に設置できれば、水筒の水がなくなってしまったとしても、ウォーターサーバーから安心、安全な水を飲むことができ、部活により一層集中して取り組むことができると思います。

以上の理由から、学校のグラウンドにミストシャワーとウォーターサーバーの設置を提案いたします。また、学校の熱中症対策として取り組んでいること、今後計画していることがあればお聞かせください。

■答弁【答弁者名：植田 賢一 教育部長】

井坂議員のご質問「学校のグラウンド設備について」お答えいたします。

市では、学校の熱中症対策について、市内の中学校や義務教育学校で行われている部活動のほか、小学校を含めた学校の活動全体を考慮しながら取り組んでいます。

議員からご提案のあった、学校のグラウンドへのミストシャワーとウォーターサーバーの設置についてですが、市では、各学校で必要な設備や備品について、学校の実態や要望を把握しながら、計画的に整備を行っており、そのなかで美野里中のミストシャワーや市内全学校へのウォーターサーバーの設置も行いました。今後も各学校の要望を伺いながら整備を行ってまいりますので、今回のご要望についても検討したいと考えております。なおウォーターサーバーについては屋内設置用に製造されているため、グラウンドなどの屋外に設置することはできませんが、屋内で場所を変更することはできますので、生徒の皆さんと学校で、より活用いただける設置場所を、話し合っていただければと思います。

次に、学校の熱中症対策として取り組んでいることについてですが、学校生活や部活動などは、暑さ指数WBGTを基準に皆さんに危険がないよう活動を行っています。また市では、冷水機能付きウォーターサーバーを、県内に先駆けて市内全ての学校に設置しています。さらに、全ての教室に空調設備を設置したほか、空調設備を設置した美野里中学校以外の学校の体育館には、気化熱冷風機を配備しました。学校体育館の空調設備の設置については、多額の費用がかかることから、今後、計画的に学校体育館への空調設備の整備を進めてまいります。

これからも児童生徒の皆さんが、安全に、そして安心して学校生活が送れるよう、熱中症対策に取り組んでまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

ショッピングセンター、飲食店の充実について

学校名 美野里中学校

議員名 いしばし けいたろう
石橋 溪太郎



■質問

私は、ショッピングセンター、飲食店の充実について質問させていただきます。

私が暮らしている小美玉市は自然に恵まれた豊かな土地です。しかし、自然が充実している一方で有名チェーン店や大手ブランド店、ショッピングセンターなどの店舗がとても少ないという現状があります。ショッピングセンターやチェーン店などの店舗が近隣の市町村にあるからという理由で建設に至らないのかもしれませんが、実際、買い物に行くときは毎回市外まで行かなければならず不便に思うことが多々あります。

そこで私は、小美玉市内に有名飲食チェーン店や大手ブランド店が集まったショッピングセンターを誘致することを提案いたします。誘致場所として、利用者が多い羽鳥駅前や国道6号沿い、茨城空港周辺などが考えられます。そうすることで、市民生活が一層向上するとともに、近隣の市町村からの人の行き来が活発になり、店側の利益も上がり、お互いが得をするという良い関係になれると思います。

現在、小美玉市では私が提案したような計画はあるのでしょうか。予算や土地、店舗側との交渉など様々な問題があると思いますが、市民のためにもぜひ前向きにご検討、計画、実現をよろしくお願いいたします。

■答弁【答弁者名：倉田 賢吾 産業経済部長】

石橋議員のご質問「ショッピングセンターや飲食店の充実について」お答えをいたします。

議員ご提案の「市内への有名飲食チェーン店や大手ブランド店が集まったショッピングセンターの誘致」は、市外から小美玉市に訪れる人を増やし、地域の賑わいづくりや経済を活性化させるために非常に有効な手段であり、市として高い効果が見込めるものと認識しております。

しかしながら、現在の企業誘致に関する計画・事業の進捗において、ショッピングセンターなどの誘致については、具体的な進展には至っていない状況でございます。

商業施設を含めた企業誘致につきましては、商工観光課が中心となって取り組んでいるところですが、今後も誘致に向けた、ショッピングセンターなどが立地している自治体や民間企業へ聞き取りを行うなど一層の取り組みを進めてまいります。

市としましては、茨城空港の拡張や空港前の賑わいを作る「百里飛行場新交流拠点整備基本計画」を進め、今後本市への人の行き来が活発になることから、地域の賑わいづくりや市民生活の活性化に繋がる企業誘致に、引き続き取り組んでまいります。議員ご提案の「ショッピングセンターなどの誘致」については、市としてもぜひ立地して欲しいと考えておりますので、民間企業から立地の相談があった際には積極的に協力をしてまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

夏休みの延長について

学校名 美野里中学校

議員名 くらた そうすけ
倉田 壮祐



■質問

私は、夏休みの延長について提案します。

最近では地球温暖化の影響で夏休みが終わったあとも非常に気温が高くなっています。そのため熱中症になるリスクも高まっています。夏休みは本来暑さで授業が困難な時期に学校を休業し、生徒が学校以外での多様な経験を積む期間であると聞きました。ですが、近年では夏休みが終わったあとも一週間程は夏休み中と同じくらい、もしくは夏休み以上の暑さです。

群馬県のいくつかの学校では、熱中症対策のために夏休みを延長したり、学校を午前中だけにしたりするなどの対策をとっているそうです。小美玉市においても、夏休みが終わったあとも暑さは厳しく、登下校で自転車に乗っている時は汗が止まりませんでした。授業中はエアコンを付けていますが、出入りの多い教室では、なかなか室内の温度が保てず、集中力が続かないことがたびたびありました。夏休みを延長した分の授業時間は、月曜日や木曜日を6時間授業にするなどして補えれば良いかと考えます。

以上の理由から、夏休みを1週間延長することを提案します。ご検討のほどよろしくお願いします。

■答弁【答弁者名：羽鳥 文雄 教育長】

倉田議員のご質問「夏休みの延長について」お答えいたします。

まず、夏休みの延長というご提案は、皆さんの健康や安全を守る上で、とても大切な視点だと受け止めております。近年は地球温暖化の影響で気温の高い日が増え、議員ご指摘のとおり、夏休みが終わった後も長く猛暑が続くことがあります。そのため、登下校のときの熱中症の心配や、教室内の温度を一定に保つことなどが大きな課題となっております。

また、夏休みが明けて授業が再開するタイミングでは、学習のリズムを取り戻す工夫も必要で、授業時間を確保しながら、皆さんが無理なく学べる環境を整えることが求められています。実際に、他の自治体では、熱中症対策の一つとして、夏休みを延長したり、短縮授業を取り入れたりしている例もあります。本市でも、学校や児童生徒の実状をふまえ、どうすることが一番よいのかを検討していく必要があります。

夏休みを延長するかどうかの判断をするためには、「健康・安全を守ること」と「学ぶ時間をしっかりと確保すること」の両方を大切にしなければなりません。例えば、夏休みを1週間延ばすとなると、その分の授業時間をどこかで確保する必要があります。議員からご提案のあった「月曜日や木曜日を6時間授業にする案」や「冬休みを短くする案」など、いくつかの方法を組み合わせ、学習指導要領との関係や、部活動への影響、家庭や地域の理解など、様々な視点から総合的に判断しなければなりません。したがって、夏休みを延長するかどうかは、皆さんや保護者の方々、先生方、地域の皆さんの意見をしっかりお聞きし、合意形成を図った上で決めていきたいと考えております。

なお、夏休みの延長の有無に関わらず、暑さ対策はこれからも続けてまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

運動公園の建設について

学校名 小川北義務教育学校

議員名 みつはし さわ
三ツ橋 咲和



■質問

私は、「運動公園の建設について」質問いたします。

近年、経済や科学技術の飛躍的な発展により、生活が豊かで便利になり、社会環境や人々の生活様式は大きく変化しました。そのような中で子どもの体力低下や運動不足が大きな問題となっています。私たちの身近なところに目を向けると、その原因は身の回りの運動環境にもあるとも考えました。小美玉市のホームページによると、小美玉市にある公園の数は6箇所です。そのうちの半分以上が美野里地区にあり、玉里地区や小川地区には数が少ないのが現状です。放課後や休日に友達と遊んだり、部活や習い事の自主練習を行ったりするためにも、玉里地区や小川地区にも運動公園を作ってほしいです。また、子どもが自力で通えるように学校の近くに設置できるとよいと思います。さらに人が多く集まる所に設置することができれば、犯罪などから自分の身を守ることができ、安全・安心な環境で利用できると思います。宮田防災公園のように災害の時の一時避難場所としても活用できると思います。

このように誰もが安全・安心な環境で利用することができ、夏休みや冬休みなどの長期休みなどはもちろん、放課後などいつでも気軽に利用できる公園を玉里地区や小川地区に作ってほしいです。ご検討よろしくをお願いします。

■答弁【答弁者名：深谷 一広 副市長】

三ツ橋議員のご質問「運動公園の建設について」お答えいたします。

現在、市内には議員ご指摘のとおり、法律に位置づけた都市公園が6カ所ございます。

その他に、規模が大きく運動が可能な公園といたしまして、美野里地区の「つくば電気通信希望ヶ丘公園」、玉里地区の「タスパジャパンミートパーク」、小川地区の「小川運動公園」のほか、美野里地区に4カ所、小川地区に3カ所の運動広場がございます。

議員ご質問の、小川地区の新たな公園の整備につきましては、旧橋小学校の跡地に「小川運動公園たちばな広場」を整備しております。「たちばな広場」には、芝生広場を中心に、遊具や健康器具、ウォーキングロードなどを設置する予定でございます。

また、災害時の避難場所としても位置づけておりまして、来年度から利用を開始する予定です。

さらには、旧小川小学校跡地にも、新たな公園を整備する計画があり、皆さんが楽しめる遊具などを設置する予定でございます。

その他にも、小川地区の「宮田防災公園」や玉里地区の「玉里ふれあい公園」、「大井戸湖岸公園」は、誰でも無料で利用できる芝生広場として開放されておりますので、ぜひご利用いただければと思います。

市でも、議員のご指摘のとおり、子どもの体力低下や運動不足が懸念されている中で、より安全に気軽に運動・スポーツが行えるよう環境の充実を図る必要があると考えております。

今後も、市民の皆様からのご意見をいただきながら、誰もが気軽にスポーツに親しめるまちづくりを進めてまいります。以上、答弁とさせていただきます。

質問事項

暑熱対策について

学校名

小川北義務教育学校

議員名

あかば かな
赤羽 柑菜



■質問

私は暑熱対策について質問いたします。

現在日本では、地球温暖化が進み記録的な猛暑に見舞われています。熱中症の死亡者数では、2000年～2004年の年平均より、2020年～2024年の年平均は5倍近く増加しています。

そのような環境の中、私は小美玉市民が命を守り、よりよく生活するためには、暑熱対策をした方がよいと考えます。暑い中での運動は、熱中症や脱水症状のリスクが高まります。そこで私は、市内全ての学校の体育館に冷暖房設備をつけることを提案します。私は、バレーボール部に所属しています。夏の冷房設備のない体育館においては、立っただけでも汗をかく程の暑さです。また、部活動中に体調を崩す生徒をたくさん見てきました。冷房設備の設置されている美野里中学校で練習をした際には、汗をかく量が確実に抑えられ、体調不良者も少なく、安全に部活動が行われたと感じています。このことから、運動を安全に行うためには、体育館に冷房設備をつけ適切な環境の下、活動できるとよいと考えます。

また、体育館のトイレについても、気温が高い時期に狭く密室のトイレでは熱がこもってしまいます。短時間でも、汗をかき、臭いがこもることで、体調を崩す原因となります。臭い軽減のために換気をしますが、外の気温が高いため、熱中症のリスクが高まります。これらのことから、体育館のトイレについても冷暖房を設置していただけるとありがたいです。ご検討よろしくお願いします。

■答弁【答弁者名：大山 浩明 会計管理者】

赤羽議員のご質問「暑熱対策について」お答えをいたします。

議員ご発言のとおり、学校体育館での夏季の運動においては、熱中症や脱水症状のリスクが高まることから、予防対策を講じることが重要であると考えております。また、災害が発生したときの避難所機能として、学校体育館の暑熱対策を強化する必要があります。

市内には、学校体育館と武道場の施設が全部で11棟あり、議員のご発言にもありましたとおり、美野里中学校につきましては、施設の長寿命化改修工事と併せ、施設の断熱化と空調設備の設置を行い、令和7年1月に工事が完了しております。また、本年度は、納場小学校体育館において、長寿命化改修工事と併せて空調設備の設置を行っており、学校体育館2棟の空調設備の設置が完了する予定であります。

残りの空調設備が未整備の体育館においては、本年度、空調設備を設置するための設計を専門の会社に委託をしているところでございます。空調設備の設置につきましては、国の補助金を活用しながら、年次計画を立て、順次設置をしてまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

また、ご要望のありました、学校体育館のトイレへの冷暖房設備につきましては、通路を含め、建物構造に適した断熱の工法や効率的な空調配置を検討することで快適に使用できるよう努めてまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

路線バス・市バスについて

学校名

玉里学園義務教育学校

議員名

せきね あん
関根 杏



質問

路線バス・市バスについて質問します。

私は、時々市バスを利用します。ですが、市バスの本数が少なく利用したい時に利用できなくて困っています。私の姉もアルバイトに行く時に、小川駅に行くため市バスを利用したかったのですが、次のバスまで1時間待たなければならず、歩いて駅まで向かいました。私も同じような経験があります。そこで私は市バスの本数を増やすことはできないのか質問します。

バスを増やせばどのような良いことがあるか考えてみました。まずは、子どもや高齢者なども簡単に移動ができて、困ることが減ると思います。また、バスの利用が増えれば利益も増加し、景気もよくなるのではないのでしょうか。しかし一方で、バスの本数を増やすことで問題もあることに気が付きました。運行にかかる経費やバスの運転手の働き方など、たくさんの解決すべき問題があると思います。

以上をふまえ、次の2つについて答弁を求めます。1つ目は、バスの本数を増やすことはできないのかについてです。2つ目は、現状の本数を増やすことができない場合、市としてはどんな対策等を考えているのかを教えてください。

答弁【答弁者名：佐々木 浩 福祉部長】

関根議員のご質問「路線バス・市バスについて」お答えをいたします。

議員のご指摘のとおり、移動手段を持たない子どもや高齢者は、路線バスやタクシーのほか、自転車や徒歩などで移動しております。

市内を運行する路線バスですが、年々利用者が減少し、減便又は廃線がすすんでおり、特に近年では、希望ヶ丘から石岡駅、鉾田から茨城空港への路線、高浜駅を経由する路線などが廃線されたほか、小川駅から玉造駅や鉾田駅方面へのかしてつバスも減便となりました。

利用者が減少している理由として、「近くにバス停がない」、「移動したい時間にバスが運行していない」、「移動したい目的地に路線がない」など個人の都合に合わせてバスが運行していないことなどが挙げられます。

バスの本数を増やすには、議員ご指摘のとおり、多くの経費が必要となります。まずは、現在のバス路線の利用者を増やし、バス路線を維持できる状況に転換することが重要であり、さらには、市民の意識を変えることや課題を解決する方法を考えなければなりません。

これらの状況から本市では、自転車とバスを組み合わせるサイクル・アンド・ライドや公共交通に合わせて移動するモビリティマネジメントを推進することにより、公共交通の衰退を防ぎ、環境への配慮やSDGsの達成のほか、タクシーも含めた公共交通の活性化を目指しております。

今後も、市では、公共交通の利用に関係する環境整備を進めてまいりますので、引き続き、公共交通の利用や維持にご協力をいただきますとともに、移動する場合には、これからも公共交通の利用も選択肢に入れていただきますようお願いいたします。以上、答弁いたします。

質問事項

玉里北小学校跡地の活用について

学校名 玉里学園義務教育学校

議員名 でるがでいじょたつお
デルガディジョ辰夫



■質問

私は、閉校となった玉里北小学校の今後の活用についてお聞きしたいと思います。

玉里北小学校は、地域の中でも長く使われてきた建物であり、閉校になる前は、北小まつりやスポレクデーなどの様々な用途に活用されていました。閉校となった後もしばらくの間、玉里サッカー少年団の活動の場として利用されてきました。ですが、現在はすでに建物がとり壊れており、校舎はなくなって跡地は何にも活用されていません。そこで、跡地や周辺のスペースを今後どのように活用する予定があるのかお伺いします。

地域の子どもや住民が利用できる場所になるのか、それとも別の新しい計画があるのか、ないのであればぜひ玉里サッカー少年団の活動の場として利用させてほしいです。なぜなら、玉里北小学校は昔からたくさんの地域の人々に支えられ、地域の人々の交流を生んできた場であり、人々の思い出がたくさんつまっている場所だからです。今後どのように地域のために活用していくのか、教えてください。

■答弁【答弁者名：大山 伸一 財務部長】

デルガディジョ議員のご質問「玉里北小学校跡地の活用について」お答えいたします。

旧玉里北小学校は長年、地域の拠点として親しまれてきた場所であり、「サッカー少年団の活動場所にしてほしい」という議員からのご意見も、地域を思う大切なご提案だと受け止めています。

閉校後の跡地活用については、当初「健康づくり」や「交流の場」として利用する予定でしたが、現在は新たに策定された「小美玉市未利用財産利活用方針」に基づき、市全体の将来を見据えた、より効果的な活用方法を検討しております。

具体的には、跡地が国道355号に面した「とても便利な場所」であることを生かして、新しい仕事を生み出し、地域経済を元気にする企業へ売却して、有効活用してもらう方針です。また、そこから得られる税金などは、教育や福祉、公園整備など、皆様の暮らしを支える大切な財源として役立ててまいります。

企業を選ぶ際は、「民間提案制度」を活用し、広く企業からアイデアを募集します。選ぶ基準については、土地の価格だけで判断するのではなく、その提案が、市が進めるまちづくりにどれだけ合っているか、また、地域の雇用や活性化にどれだけ貢献できるかといった『公益性』、つまり地域の役に立つ度合いを総合的に評価し、地域発展につながる企業誘致を進めてまいります。

そのため現時点では、玉里サッカー少年団の活動場所として利用することは難しい状況ですが、玉里地区にはタスパジャパンミートパークがあり、議員も日頃から利用されていることと思います。そこにはスポーツ活動に適した素晴らしい環境が整っております。サッカー少年団の活動につきましては、ぜひタスパの充実した施設を活用しながら活動を続けていただきたいと考えております。

旧玉里北小学校跡地が、新しい形で小美玉市の発展に貢献し、皆様の未来につながる場所となるよう利活用を進めてまいりますので、今後とも議員をはじめ、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。以上、答弁いたします。

質問事項

自主防災組織の活動について

学校名 美野里中学校

議員名 つれかわ りん
連川 凛



■質問

私は自主防災組織の活動について質問します。

私は夏休みに中高生防災士養成研修に参加し、防災についてたくさんの知識を得ることができました。それを機に小美玉市が行っている防災活動に関心をもち、自主防災組織補助金制度の存在を知りました。現在、全国には約16万の自主防災組織が存在し、各地で活動しています。しかし、自主防災組織に加入している防災士は少なく、活動継続が懸念されています。そのため、全国的に呼びかけや補助金制度を設けて組織への加入を推奨しています。この制度は組織結成と活動時の資金の一部を市が負担するものですが、この制度が使われた事例はあるのか、今後、利用される見込みはあるのかお聞かせいただきたいです。

また、避難訓練のマンネリ化、地域の高齢化、人口減少に伴い、市民の防災意識が低下している課題もあります。そこで各地域の自主防災組織と協力し大規模な防災フェスティバルを開催して、小美玉市全体で防災意識を高めることはできないでしょうか。中学生や高校生も運営として参加することで参加人数の確保やイベントに対しての積極性もひきだすことが可能だと考えています。ご検討のほどよろしくお願いいたします。

■答弁【答弁者名：中村 均 総務部長】

連川議員のご質問「自主防災組織の活動について」お答えいたします。

議員ご指摘のとおり自主防災組織に加入している防災士が少なく、活動継続が懸念されていることは、地域の防災力を維持・向上させるうえで重要な課題と認識しております。本市においても令和5年度から自主防災組織の結成促進及び育成を図るための補助金交付要綱を定め、防災組織結成に向けての支援に取り組んでまいりました。

しかしながら、本市では、地域コミュニティ主催の防災訓練のように自主防災組織と同様の役割を地域コミュニティが担っていることから、現在までにこの制度が使われた事例はありませんので、改めて内容を見直すとともに、積極的に周知を図ってまいりたいと思います。

一方で、防災士については個人の資格取得に係る補助制度を設けており、毎年、数名の住民の方にご活用いただき、地域防災力の底上げに貢献いただいているところです。

次に、ご提案の大規模な防災フェスティバルの開催ですが、以前は市でも総合防災訓練を行っていましたが、現在はいざという時に住民一人ひとりが動けるように、実際に避難する学校等の場所で、より実践的な防災訓練を地域のコミュニティや学校主催で開催をしてもらい、それを市が支援を行う形で防災訓練などを実施しております。議員におかれましても、地域の防災イベントに積極的に参加し、中高生防災士養成研修の成果を発揮していただければと思います。

今後も住民自身が防災意識を高めるため、本市では住民主体の防災フェスティバル等の開催に協力してまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

AEDについて

学校名 美野里中学校

議員名 おがわ りな
小川 利夏



■質問

私は、AEDについて質問します。

私の美野里中学校には現在、AEDが職員室、体育館、校舎の外壁に設置されています。しかし、校舎の奥で活動しているときには、すぐに取りに行けない場所もあり、緊急時には対応が遅れる可能性があります。そこで、学校のAEDの増設について提案、質問させていただきます。

AEDは命を救うために非常に重要な道具であり、どの場所においても安全に使える状態にしておくことが必要だと考えます。授業や部活動中に何らかの理由で倒れ、危険な状態に陥った生徒が出た場合、近くにAEDがなければ、迅速に心肺蘇生を行うことができません。

本校の校舎は3棟あり、そのうち1年生の教室がある棟は、AEDが設置されておらず、今現在あるAEDの設置場所からは一番遠い位置にあります。そこでお願いしたいのは、美野里中学校にAEDをもう1台増設していただきたいということです。AEDの設置場所を増やしてより迅速に対応できる体制を整えることは、学校全体の安全性を高める上で非常に重要です。

市として、今後、学校にAEDを増やす予定はあるのでしょうか。また、教職員を対象としたAED研修は毎年行われていると、学校の先生から伺いましたが、いざというときに、私たち中学生も安全にAEDを使えるように、操作方法の講習や訓練を定期的に行うことを検討していただきたいです。よろしくお願いします。

■答弁【答弁者名：藤枝 修二 消防長】

小川議員のご質問「AEDについて」答弁いたします。

AEDは、議員のご指摘のとおり、心肺蘇生を行うための重要な機器であり、学校では体育館、校庭、校舎内で5分以内に措置が開始できるよう配置しています。

AEDの増設につきましては、リース機器を更新する際に、機器増設や適切な配置について、学校の先生方と協議を行いながら、検討してまいります。

また今年度、美野里中学校では、職員室や教室などにインターホンを設置する工事を行います。これは、各種業務連絡や防犯対策のほか、けが人や急病人などの緊急連絡に対応できるよう設置するものです。これにより、AEDを持ち出す時間の短縮にもつながるものと考えております。

次に、AED研修についてですが、議員ご指摘のとおり、教職員を対象とした研修は、夏休み期間を利用して毎年開催しています。

中学生を対象にした研修については、毎年1月頃に中学2年生の体育の授業で、AEDの取扱いと胸骨を圧迫する心臓マッサージの訓練を実施しています。

また、毎月第3土曜日にAEDの操作講習・訓練を伴う普通救命講習会を市内各消防署でそれぞれ実施しているほか、希望の場所に出向いての救命講習会も開催しております。これらの講習会は、中学生も参加可能です。議員におかれましても、ぜひ受講いただき救命活動についてさらに知識を深めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。以上、答弁いたします。

質問事項

農家の後継者問題について

学校名 美野里中学校

議員名 いわぶち はるひと
岩渕 陽仁



■質問

私は、農家の後継者問題について質問します。

小美玉市では現在盛んに農業が行われています。ですが、日本では今若者の農業離れや、農家の高齢化などの問題で後継者不足になることが懸念されています。このままでは、農地の荒廃や食料自給率の低下が起きてしまいます。

私は、なぜ農家をする若者が減ってしまっているのか調べてみました。すると、農家の収益性の低さや農業を始める際にかかる費用の高さによる起業する際のハードルの高さ、若者の家業を継ぐ意欲の低さが原因となっていることを知りました。

そこで、私が考える対策を2つ提案します。1点目は、市で農業を始める人への金銭的な面でのサポートです。農業を始める際に必要な農業用の機械は高額です。それによって農業を始められる人が限られていると思います。なので、サポートができれば農業を始められる人が増えると思うので提案します。

2点目は、農家という職業のイメージの向上です。SNSやメディアを活用し、農業の魅力や後継者問題について発信することができれば、小美玉市で農業をやってみたいと思う若者が市内にとどまらず様々な地域から集まってくるのではないかと考え、提案します。

また、現在小美玉市で農業を営む人材の確保、農家を増やすための補助についての計画や何か取り組んでいることがあればお聞かせください。以上、ご検討のほどよろしくお願いします。

■答弁【答弁者名：鈴木 和広 農業委員会事務局長】

岩渕議員のご質問「農家の後継者問題について」お答えいたします。

議員のご質問にもありましたように、小美玉市においても農家の後継者問題は重要な課題の一つであります。

1点目の農業を始める方への金銭面でのサポートについてでございますが、農業に関する研修を一定期間必要とするなど、いくつかの条件はありますが、農業を始める方には、農業経営が安定するよう最大3年間の資金の補助や、市独自の支援策として、農業用の機械、ビニールハウスなど農業用施設を購入する際の補助など、金銭面のサポートを行っております。

また、小美玉市の農政課では、ワンストップ窓口において、いつでも茨城県や金融機関と連携して相談できる体制を整えております。

2点目の農業のイメージ向上についてですが、「おみたま大空マルシェ」など市内で行われるイベントはもちろんのこと、市外のイベントでも市内で生産された農産物を販売したり、学校で配布されている給食だよりに市内の農家さんを紹介する記事を載せていただくなど、様々な機会を通じて、農業をより身近に感じてもらう情報発信を行っております。また、農家の収益が上がるよう市内で生産された農産物や農産物を原材料とする加工品で、特に優れたものを「小美玉のめぐみ」という市独自ブランドに認定する取り組みを行っております。この「小美玉のめぐみ」はInstagramなどのSNSでも紹介しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

今回、岩渕議員よりご提案いただいた他にも、市ではICTやロボット、AIを活用したスマート農業の導入支援、農薬や化学肥料を減らす取り組みも行っております。さらに、今年度から地域おこし協力隊制度を活用し、都市部から農業を志す人材を受け入れ、3年の間に市内の農家で経営に必要な知識や技術を学び、独立を目指す方を支援しております。

こうした取り組みを今後も継続しながら、農業のイメージ向上、農業人材の確保に努めてまいります。以上、答弁いたします。

質問事項

学びの場の増設について

学校名 美野里中学校

議員名 ぬかが 額賀 ほのか 歩香



質問

私は、学びの場の増設について提案します。

私が住んでいる美野里地区には、大きな図書館や学習室などの学びの場が少なく、既存の施設もスペースが限られているため、家の外で集中して勉強したり、読書したりすることが難しいと感じています。そのため、家や学校以外の場所で学習するには、他の地区や近隣の市町村に行く必要があります。しかし、自分で自転車に乗って行くには、なかなか厳しい面があります。

そこで、みの～れや羽鳥駅周辺に、大きな図書館や学習室などの学びの場を増やせないかと考えました。近くに学びの場が増えれば、集中して勉強できることはもちろん、様々な本に触れ、読書に親しむことで、より一層知識や教養を深められ、心を豊かにすることができると思います。また、駅周辺に設置すれば、他の地区や近隣の市町村からでも行きやすくなり、学びを通じた人との出会いが生まれ、人々の結びつきが強まると思います。

大きな図書館や学習室などの学びの場を増設するには、予算や設置のためのスペースなど、問題面はたくさんあると思いますが、ご検討のほどよろしくお願いします。

■答弁【答弁者名：島田 幸三 市長】

額賀議員のご質問、「学びの場の増設について」お答えをいたします。

現在、美野里地区には美野里公民館図書室、羽鳥ふれあいセンター図書室内に学習スペースを設置していますが、議員ご指摘のとおり、席数に限りがあるなど十分なスペースを確保できていない現状となっております。

中でも特に羽鳥駅の周りには、新しい住宅が年々増え、保育園、小学校、スーパーマーケット、診療所などがあり、生活するには良い環境ですが、議員ご指摘のとおり、小中高生が落ち着いて学習できる施設、子どもも大人もゆっくり過ごせる図書施設が少ないとの声をたくさんいただいております。

そこで市では、令和6年3月に羽鳥駅や茨城空港などの地域資源を活用した賑わいや交流の創出、地域防災力の向上を目的に策定をいたしました「新まちづくり構想」において、羽鳥駅前東口の方に図書館機能を有した新たな交流施設を整備することにいたしました。

施設は図書館のほか、学習室としても使用できる多目的スペースなどを設置する予定です。また、たくさんの方が利用しやすいように施設を羽鳥駅と直接つなげる計画にいたしました。

この交流施設を利用しやすい施設にするため、本を扱う専門の会社など民間企業のアイデアを取り入れていく予定ですが、この計画を進めるには、専門的な会社の視点だけでなく、利用者の立場である皆さんの視点が特に重要であります。今後、多くの市民の皆さんの意見を聞く場を設けていきますので、その時には議員におかれましても、若い視点での意見や感想をいただければと思っております。

本市では、皆さんからの意見を反映させながら、たくさんの人達の交流や学習の場となる施設を目指し、整備をしてまいります。額賀議員さん、楽しみにしてください。以上、答弁いたします。



講評

学校長会 会長
さとう まさのり
佐藤 雅記

小美玉市校長会の佐藤 雅記でございます。

各学校の校長先生方を代表して、講評を述べさせていただきます。

本日、第19回小美玉市子ども議会に、議員として参加いただいた代表15名の皆さんの堂々とした態度に、感心するばかりでした。各校の代表としての責任をしっかりと果たし、今、ほっとしているところかと思います。普段入ることのできない、市議会の議場をお借りして行われた、このリアルな経験は、皆さんにとって、一生の思い出となることでしょう。

子ども議員に選ばれた代表の皆さんの質問は、学校の施設や通学路の整備、熱中症対策、防災、小美玉市の活性化など、学校生活や市民生活、皆さんが暮らす小美玉市がよりよくなるためにという視点で構成されているものでした。小美玉市の生活や小美玉市の将来を真剣に考えていること、大変うれしく思います。

今回の皆さんの質問の中で、何が正解になるのか難しい質問もありました。例えば、文化センターの活性化、閉校跡地の活用、巡回バス、農業の後継者問題などについてです。その人の立場や状況によって正解が違い、また、どれもが正解であり、正解がたくさんあると考えられます。学校では、答えがある問題が多いですが、社会に出ると、答えがない問題、立場や状況によって正解が多様である問題について、自分なりの正解（最適解）を見つけていかなければなりません。ぜひ学校に戻ったら、さらに主体的に学習に取り組み、より力をつけていきましょう。

今日、子ども議会に議員として質問に立った皆さんは、今後、様々な立場で小美玉市民の中心になり、ふるさとである小美玉市の住みよいまちづくりに貢献してくれると、心から期待しています。

結びになりますが、島田市長様をはじめ小美玉市関係部局の代表の皆様、石井議長様をはじめ議会事務局の皆様、本日、子ども議員の質問に丁寧に答弁していただきましたことに深く感謝申し上げます。また、開催にお力添えをいただきました篠根会長様をはじめ青少年を育てる小美玉市民の会の皆様、生涯学習課の皆様に、重ねて御礼を申し上げます。

小美玉市の子どもたちが、今後も、このような貴重な経験をさせていただけますようお願い申し上げます。講評とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。



感想文



生徒からの感想を原文のまま掲載しております

子ども議会に参加して

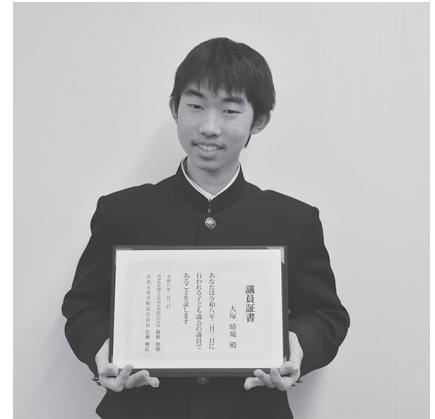
小川南中学校 大塚 晴琉

私は、子ども議会に参加して、普段は入ることができない議場の中に初めて入ることができ、とても感激しました。議場はテレビなどで見るよりも広く、厳かな雰囲気があり、これから自分がここで質問をするのだと思うと、とても緊張しました。

議会の開会前には、青少年を育てる小美玉市民の会の会長から、代表として議員証書を受け取りました。議員証書を受け取った瞬間、自分が子ども議員として責任ある立場になったのだと実感し、身が引き締まる思いがしました。同時に、このような貴重な経験をさせていただけることに感謝の気持ちも強くなりました。

今回、私は「交通安全対策について」というテーマで質問をしました。私は自己紹介と質問の順番がトップバッターだったため、とても緊張しましたが、市民の安全に関わる大切な問題について、自分なりに考えたことをしっかり伝えたいと思い、勇気を出して質問しました。市執行部の方が丁寧に答弁してくださり、交通安全を守るために様々な取り組みが行われていることを知ることができました。

私は、子ども議会を通して、市の政治やまちづくりは、多くの人が協力して成り立っていることを学びました。また、自分たち子どもの意見も大切にしてもらえることを知り、とても嬉しく思いました。今回の経験を通して、これからは身近な地域の問題にも関心を持ち、自分にできることを考えていきたいと思いました。



立場の重要性

小川南中学校 郷原 希恵

私は、今回、子ども議会に参加し、自分たちの意見が社会を動かす力になるということを強く感じました。私はその中で、議長という大切な役割を務めました。この経験を通して、議会を円滑に進めることの難しさと責任の重さを実感しました。事前に資料を読み、流れを確認して臨みましたが、実際の議場では緊張して名前を噛んでしまったり、想定通りに進まない場面も多くあり、その場で状況を判断し、改善していく力が求められました。

議長として特に意識したのは、議員の皆さんや市長、市執行部の皆さんの名前を噛まないよう、はっきりと冷静に発言すること、そして相手の顔をしっかり見てから発言することです。周囲の様子を見ながら進行することは簡単ではありませんでしたが、その分、議会をやり遂げたときの達成感は大きなものでした。

議会では、私たち議員の質問や意見に対する行政の方たちの答弁を聞き、政策には時間や予算など多くの制約があることを知りました。その中で物事を現実的に考える視点の大切さも学びました。

今回、子ども議会で議長を務めたことで意見をいう側だけでなく、議会の中心となって全体を支える立場の重要性を学びました。この経験を生かし、これからは学校生活や生徒会、身近な話し合いの場でも、周囲を見ながら発言や行動ができるようになりたいです。



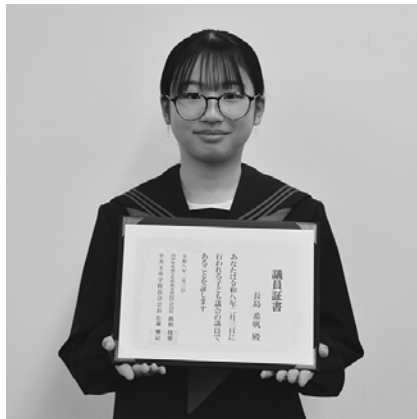
初めての経験

小川南中学校 長島 希帆

私は、実際に議場へ行き質問をするのは初めての体験だったのでとても貴重な経験となりました。ありがとうございました。また、立派な議場で、「はい、議長」と言い、質問ができたことを心からうれしく思います。

人生において絶対に忘れない素晴らしい思い出となりました。私は、3つの文化センターの活性化について質問させていただきましたが、市執行部の皆さんに、お聞きしなかったら知らなかったことがたくさんありました。3つの文化センターの活性化について、市執行部の皆さんが考えてくださっていたことをしみじみと感じました。これからも、小美玉市に3つの文化センターがあることを誇り、3つの文化センターがあることへの感謝の気持ちは忘れません。そしてなによりも、議場へ着いた時、実感が湧きすごく緊張しました。しかし、市の職員の皆さんが、「緊張しないでいいよ、堂々と話せばいいんだから。」と言ってくださり、議場にいるだけで緊張していましたが、その言葉のおかげで堂々と話すことができました。

今回の経験は、一生忘れない出来事です。小美玉市民として、小美玉市のことについて質問できたことうれしく思います。この議会を通して、小美玉市がより良くなることを願っています。



子ども議会での経験

美野里中学校 榎本 優杏

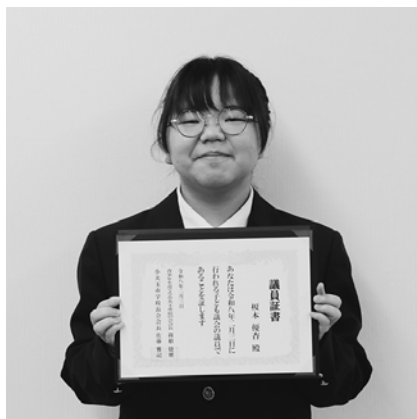
私は、今回の小美玉市子ども議会で様々な経験をさせて頂きました。私は、練習の時から質問を読むのが早くなってしまったり、特定の場所でいつも噛んでしまったりして、本番当日まで不安と緊張でいっぱいだったのですが、リハーサルの時のやわらかい雰囲気や友達からの励ましで、議会が始まる時には「なんとかなる!」と思えました。しかし、自分の名前を呼ばれて、いざ質問席に立つと、今まで練習した文章が頭から飛んでいってしまって、最初から今までにないくらい噛んでしまい、正直とても恥ずかしかったです。でも、始めに緊張を使い果たしたからか、それからは練習よりスムーズにゆっくりと発言する事ができました。

休憩時間には、同級生だけでなく、隣の議員だった他校の子にも慰めてもらい、失敗して落ちこんだ気持ちから前向きになることができました。

また、他の子ども議員の意見を聞けたことも、私にとって大きな学びとなりました。自分とは異なる視点で小美玉市について質問しているのを聞き、自分の視野を広げることができたのではないかと感じました。

さらに、実際に市の行政に関わっている方々に自分の意見を伝えられた事も、大変貴重な経験となりました。私達の質問の一つひとつ真剣に答弁をして下さっているのを見て、まちづくりがより身近なものに感じられました。

最後に、今回の子ども議会に携わって頂いた市議会・関係者の皆様、お忙しい中このような貴重な場を設けて下さり、大変ありがとうございました。この議会での体験を、今後の生活にも生かしていきたいと思っています。

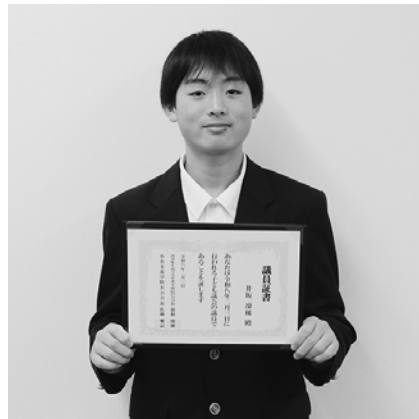


子ども議会に参加してみて

美野里中学校 井坂 凜稀

私は、子ども議会に参加して、普段はあまり考えていなかった市やまちの政治について深く考えることができました。議場の雰囲気は、思っていたよりもすごく緊張感があり、本物の議員さんのように発言する経験は、とても貴重でした。自分たちの意見や考えを伝えることで、大人の方々が真剣に耳を傾けてくれたことがうれしかったです。また、まちをより良くするためには、一人一人が考え、行動することが大切だと学びました。ニュースで見る議会は遠い存在に感じていましたが、今日の体験を通して、政治は自分たちの生活とつながっていると実感しました。

これからは社会の出来事にも関心をもち、自分の意見をしっかり考え、伝えられるようになりたいです。

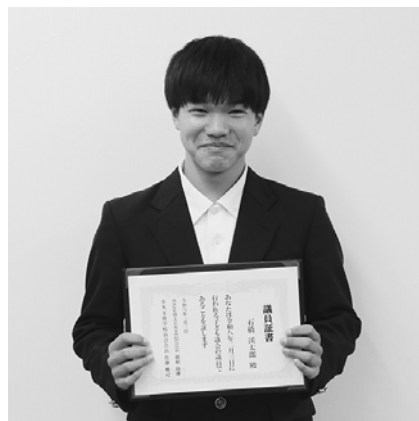


大切な経験

美野里中学校 石橋 溪太郎

私は先日、子ども議会という実際の議場で市の方々に質問するという機会に参加させてもらい、とても貴重な経験を得ることができました。議場に入るだけでも貴重なことなのに、ずっと疑問に感じていたことを質問できて、とてもうれしく思うのと、同時に学校の代表として市の方々に質問できることを誇らしく思いました。実際に私は市内のショッピングセンター、飲食店の充実について質問させていただきました。私は最初、真面目に回答してくれるか不安でしたがそんな不安はすぐに消えました。私の質問に対して回答してくださった産業経済部長の倉田 賢吾さんは質問をしっかりと受け止め、真面目にわかりやすく答えてくださいました。真摯な姿勢で答えてくれる姿を見てうれしくなるのと同時に、ずっと疑問に感じていたことの答えをもらうことができ、すっきりとして、達成感を味わうことができました。また、同年代の人たちがどのような願いや案を持っているのか、市の方々がその質問に対してどのように考え、計画しているのかがわかり、市への信頼や興味を一層もつことができました。

私はこの貴重な経験を得て、同級生達などに子ども議会のことや市のイベントなどを積極的に伝え、自分自身も進んで参加しようと思いました。子ども議会の開催に尽力してくださった方々、ありがとうございました。



初めての挑戦

美野里中学校 倉田 壮祐

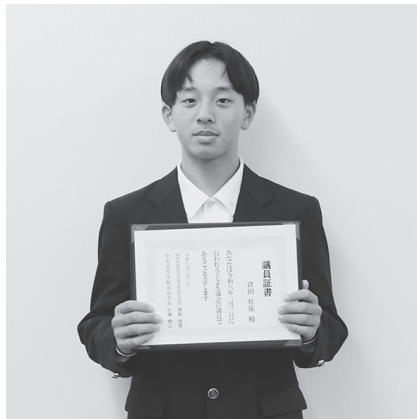
僕は、先日子ども議会に参加しました。初めて入る議場は緊張もしたけれどとてもおもしろくて、印象に残ったことがいくつかあります。

1つ目は、議場の空間です。まず入って思ったことは、広さです。市役所の三階なのにとっても大きくて開放感がありました。今からここで発言すると思うととても緊張してしまいました。

2つ目は議会での雰囲気です。本物の議会の人たちが子ども相手なのにとっても真剣な目をしていました。僕は順番的に練習がなかったので、前の人たちの行動や発言を見ていました。すると何だかみんな僕よりも上手な気がして、とても緊張してきました。リハーサルが終わり、一度控え室に戻ってきた時は、早く始まらないかなと、ずっと思っていました。

本番が始まり、自分の自己紹介をするのにも、とても緊張してしまっていてあまり声が出ませんでした。そんな事を思っているうちに、全員の自己紹介が終わって一番最初の人立ち上がって質問席まで行きました。その人の発言が終わって、市役所の人答弁をする番になると、市役所の人とはとてもいねいに説明をしていて、すこしだけ緊張がやわらぎました。自分の番が終わり休けいに入ると張りつめていた空気が一気になごやかになり緊張がなくなりました。

今回子ども議会に出てみて議会を担当する方々の大変さなどがよくわかりました。今後僕たちも、この経験を通して、学校の中心となって、みんなを引っばっていけるようになります。

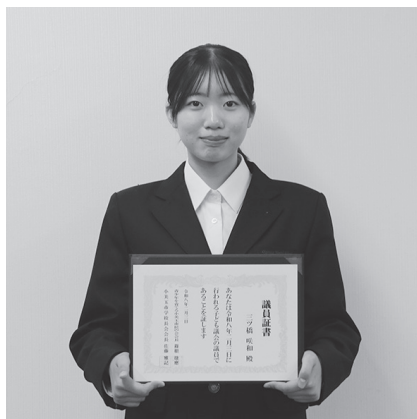


子ども議会に参加して

小川北義務教育学校 三ツ橋 咲和

子ども議会に参加して、私たち中学生の質問に真剣に考え、丁寧に向き合ってくれる小美玉市に生まれてよかったと心から感じました。議場に向かう途中ではとても緊張していましたが、役員の方々が優しく接してくださり「緊張しなくていいよ。」と声をかけてくれたことで、安心して子ども議会に参加することができました。また、普段は交流する機会のない他校の生徒や執行部の方々と質問や答弁を交わしながら活動できたことがとても楽しく、貴重な体験になりました。議長を務めてみて、自分では思いつかなかった文化センターの活用方法やグラウンドの設備などさまざまな意見を聞くことができました。同じ中学生が小美玉市をよりよくするために、別の視点から出た小美玉市への質問がとても勉強になりました。子ども議会ですべて印象に残っているのは、私たち中学生の意見や質問に対して、執行部の方々が一つ一つ真剣に受け止め、分かりやすく答弁してくださったことです。年齢に関係なく、市民・議員の一人として意見を尊重していただけたことが嬉しく、誇らしい気持ちになりました。これまでの政治のことは決まった結果をニュースで見るくらいしか分かりませんでした。実際には、多くの話し合いと意見の積み重ねによって成り立っていることを、今回体験してみて、政治のしくみについて、詳しく知ることができました。

私たちの意見を大切に、未来と一緒に考えてくれる小美玉市だからこそ、小美玉市に生まれてよかったと改めて実感しました。この経験を忘れず、これからも小美玉市の一員として、地域のことに興味を持ち続けて行きたいです。

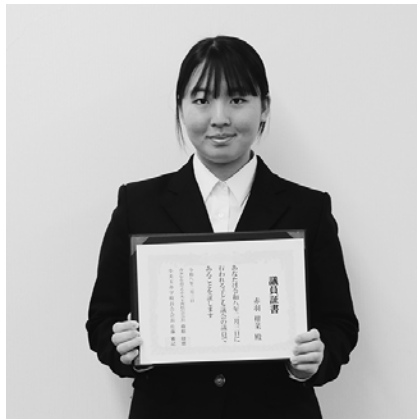


初めての挑戦

小川北義務教育学校 赤羽 柑菜

私は、子ども議会に参加して、貴重な体験をさせていただき、心からよかったと感じました。選挙権のない私たちが直接、市政にふれる機会はほとんどなく、興味をもつことはなかなかありませんでした。そのような中、実際に議場へ行き、中学生である私たちが議会を行ったことは、政治の仕組みを知るためのよいきっかけになりました。実際に議場へ行ったことでその場の空気感や音響、広さを知って、雰囲気や緊張感を感じることができました。また、自分の考えを言葉にして、それを直接市の方に伝えることができ嬉しかったです。普段自分の考えが市に反映され、市を動かす機会はないので、すごく貴重な体験でした。また、議場に入出入りする際に一礼をしたり、会う人に挨拶をしたりするなど、当たり前のことかもしれませんが、参加していた生徒も、市役所の方々も全員しっかし行うことができている、すごく印象がよかったので、礼儀は改めて大切だと思いました。これからも、生活していく中でも大切にしていきたいです。

今回、学校の代表にして子ども議会に参加し、自分の意見について述べられた経験は、今後学級委員として人前に立ち、自分の意見を周りに伝える時に生かすことができると思います。そして今回の経験を自分の中だけに留めず、いろいろな人に伝えていきたいです。



子ども議会を通して

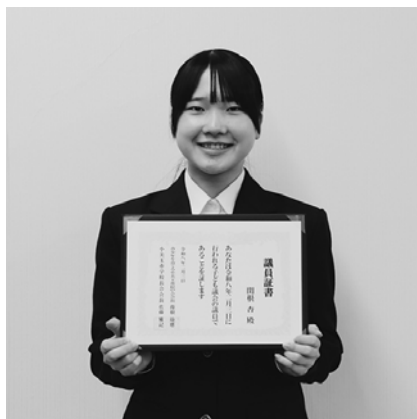
玉里学園義務教育学校 関根 杏

私は、今回の子ども議会に参加して、勉強になったことがたくさんあります。

まず、議会の仕組みについてです。今までは、何を行っているかわからず、あまり興味をもつことができませんでした。しかし、今回の議会に参加したことで、議長を中心に質問や答弁を行い、市について話し合っていることがわかりました。これからは、市の広報誌を読んだり、議会について詳しく調べたりしたいと思うようになりました。

また、議会での質問を考える過程で、改めて小美玉市について考えることができました。私が質問した「路線バス・市バスについて」では、バスの利用者が減少しているのが現状なので、バスの本数を増やすことはむずかしいということでした。しかし、バスだけでなく、タクシーや自転車など他の交通手段も活用して、市民の生活をよりよくするために工夫していることを知ることができました。小美玉市に住んでいる市民の一人として、バスを利用できるときは利用して、バスの利用者を増やすきっかけになればいいなと思いました。

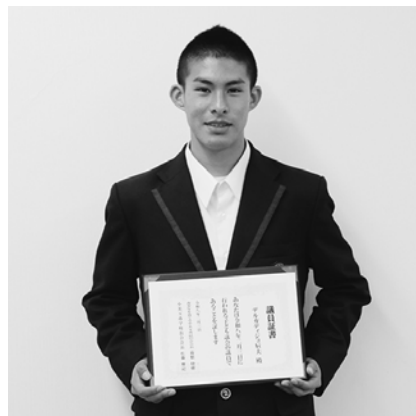
最後に、貴重な体験をさせていただき本当に感謝しています。この経験を無駄にせず、小美玉市のために自分の力を役に立てよう努力していこうと思います。このような素晴らしい機会を作ってくださった関係者の皆様本当にありがとうございました。



意見を伝えることの大切さ

玉里学園義務教育学校 デルガディョ辰夫

子ども議会に参加して、実際の議場で話し合いをするという貴重な経験をすることができました。テレビやニュースで見る議会は少しかたいイメージがありましたが、やはり実際にその場に立つと、緊張感と責任の重さを強く感じました。質問する場面では自分の意見を伝えるためには、感情論ではなく、論理的な根拠で具体的な事例を示すことが大切だと学びました。また、自分とは異なる意見や他の人の意見にも真摯に耳を傾けることで、地域にどのような問題があるのかを知ることができました。そして市政に関わるたくさんの方が、よりよいまちづくりのための政策を必死に考えてくれていることを知りました。



今回の経験を通して、私は考えたことが2つあります。1つ目は政治は自分の遠い存在ではなく、私たち一人ひとりの生活と密接に関わっているものだということです。2つ目は、中学生の自分にも地域のためにできることがあるということです。これからは社会の出来事に主体的に関心を持ち、自分なりの考えを深めていきたいです。

子ども議会で得たこと

美野里中学校 連川 凛

今回、私は市の議場で行われた子ども議会に参加し、自主防災組織の活動と地域防災の向上について提案させていただきました。普段は入ることのできない議場で発言するという貴重な機会に、最初は緊張しましたが、小美玉市について真剣に考え、自分の意見を伝えられたことを大変光栄に思っています。



質問を考える中で小美玉市の福祉や政治について知ることができ、より一層、市が行っている取り組みや課題への関心が高まりました。また、自分の意見を言葉にして伝えることの大切さも実感しました。市に携わるたくさんの方々が私の意見に耳を傾けてくださったことや丁寧に答弁をしてくださったことは大きな自信につながりました。子ども議会にご尽力くださった方々に感謝しております。

そして、若年層の政治に参加する意欲の低下が問題視されている現在、子ども議会を通して、自分たちの意見が政治に反映されることが実感できたのは大変重要な学びになりました。私達のような未来を担う世代が地域の課題に向き合い、考え続けることの大切さにも気付きました。将来、有権者になったときには、選挙に足を運び、少しでも住みやすいまちづくりに貢献したいと思います。

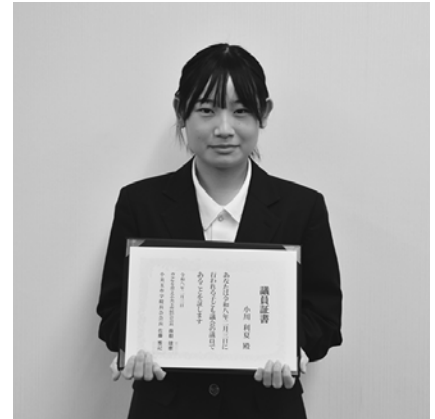
今回の経験を今後に生かし、防災や政治、教育など幅広い分野に目を向け、自分が今できることに取り組み、小美玉市の発展につながるよう努めていきたいです。また、子ども議会で得たことはこれからの成長につなげていきたいと思っています。

子ども議会について

美野里中学校 小川 利夏

私は、第19回子ども議会でAEDの増設について提案させていただきました。私は選挙権がないので特に政治についてあまり知りませんでした。しかし、実際に議場に行ってみて自分も政治に参加しているような気分になり、大変貴重な体験でした。私はこの子ども議会を通して勉強になったことが沢山あります。1つ目は、実際の議場の雰囲気です。いつもテレビなどで見る画面とはまた違い、実際の議場の空気は、少しでも触れるとキレるような緊張感に包まれていました。2つ目は実際の議会の流れです。議長の指示に従って議会が進んでいくのを見て議長の存在がとても大きいことを知りました。子ども議会で一番思い出になったことは、子ども議員の答弁として答えてくださる方々が、私たちのために答弁を作ってくださったことです。目では見えない裏で私たちのためにだけ答弁を準備してくださることは本当にありがたかったです。私は消防局長様から答弁をいただけて嬉しかったです。

学校の代表として実際に子ども議会に参加できたことを誇りに思います。最後に改めて子ども議会に参加させていただき、ありがとうございました。今度、AED研修会に参加させていただきたいです。答弁、ありがとうございました。



子ども議会で得られた経験

美野里中学校 岩淵 陽仁

私は、第19回小美玉市子ども議会に参加しました。小美玉市の4つの中学校から計15人が集まり、それぞれの地域に関係することを質問しました。

私は現在盛んに行われている農業を残したいと思い農家の後継者問題について質問しました。緊張はしていたけれど、話していくうちに緊張がほぐれていって練習していたようにできた事が良かったです。

答弁をしてくれた方が中学生の自分にも分かりやすく丁寧に説明してくださったおかげで質問をして良かったと思いました。

また、他の参加者の方々の質問を聞くと、それぞれが違う質問をしているけれど、その根幹には小美玉市や各地区を大切に思う気持ちや、よりよく充実した生活にしていきたいという気持ちがあるのだと感じました。自分は、地域をよりよくするという点で、農業について質問しましたが、もっと身近な交通の面や生活している学校の事など様々な種類の質問を聞くことで、日頃から小美玉市について関心をもちながら、自分の周りに目を向けていくことが大切だということに気がしました。

今回の子ども議会を通して学んだことや考えたことを、ここで終わらせずに活用していきたいです。

これからも、自分にとってプラスになる経験ができる機会があれば積極的に参加しようと思います。



子ども議会に参加して

美野里中学校 額賀 歩香

私は、子ども議会に参加して感じたことが2つあります。

1つ目は、自分の意見を伝えることの大切さです。私は昔から自分の意見を伝えるのが苦手で、実際に議員として胸を張って質問をすることができるのか、と不安な気持ちでいっぱいでしたが、落ちついて質問をすることができ、答弁が返ってきた時には、「参加をして良かった。」と思うようになりました。

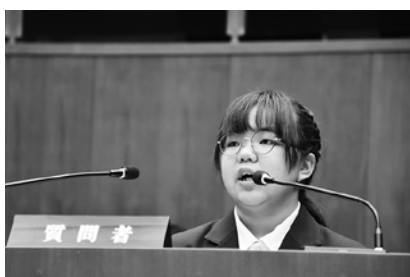
2つ目は、まちづくりについての関心です。私は、今まで部活以外でイベントに自主的に参加したことがあまりなく、どのような活動をされているのか、いまいちよく分かりませんでした。しかし、今回の子ども議会で、市のまちづくりについて興味を持つことができ、イベントにも参加してみようと思えるようになりました。

今回の経験を通じて、政治やまちづくりは誰かにただお願いするのではなく、私たち一人ひとりが積極的に行動していくのが大切だと分かりました。また、自分だけでなく周りの人達にも呼びかけをしていくことが重要だと感じました。



当日の様子





子ども議会の様子が映像でご覧いただけます

・二次元コードから

右記の二次元コードから視聴できます。

・小美玉市議会HPから

①市議会HPから「議会中継」を選ぶ

▶市議会HP <https://gikai.city.omitama.ibaraki.jp>

②タブから令和8年を選択

③「令和7年度子ども議会」を選ぶ

④「02月03日 子ども議会」から視聴いただけます。

※どちらの方法からでも同じサイトに繋がります。

第19回子ども議会
録画配信ページ



発行日 令和8年3月

発行者 青少年を育てる小美玉市民の会 健全育成部会

事務局 〒311-3492 茨城県小美玉市小川4-11
小美玉市教育委員会生涯学習課
電話 0299-48-1111

発行日 令和8年3月

発 行 青少年を育てる小美玉市民の会 健全育成部会